

# スローライフ・フォーラム in 水源地のむら川上

～南部地域産業復興推進大会「なんゆう祭」の一環として～

## 「むら」に暮らす

11月24日(日) 13時から

奈良県川上村  
「川上総合センターやまぶきホール」

<タイムスケジュール>

- 12時 ● 開場・「逸村逸品展」
- 13時 ● 開会
  - 「むらおこしプロジェクト」発表会 (十津川村・野迫川村・川上村)
  - 基調講演
  - パネルディスカッション
- 16時 ● 閉会

日本中から村が消えていくなかで、奈良県には12もの村が残っています。行政区としては小さな単位でも、そこにはこの日本をつくってきた歴史・景観と社会とがあり、自然と寄り添いながら暮らす人々がいて、心ゆたかな繋がりがああります。都市は、この「むら」の暮らしから、学ばねばなりません。一方、「むら」では、都市と交流することで新しい道を考えてみたいものです。

フォーラムは「ゆっくり、ゆったり、ゆたかに」の視点から地域のあり方を考え、ただします。それに打ってつけのパネラーが論じ合う・・・「むら」に暮らす・・・奈良の人にも、外からの人にも味わってほしい「奈良の魅力・むらの魅力」をどうぞ。

<むらおこしプロジェクト> 2年前から「寄り合い」を重ね、村人が考えた、交流・むらおこしプロジェクト。「いまできることから、自分たちで」を合言葉に、実現へのがんばりが始まっています。

<p>プロジェクトⅠ <b>十津川村</b></p> <p><b>吊り橋に続くゆっくり散歩道</b></p> <p>有名な谷瀬の吊り橋を渡ったその奥の集落まで、人が足を運んでくれるように。「物語り」のある散歩道の整備にとりかかります。</p>	<p>プロジェクトⅡ <b>野迫川村</b></p> <p><b>森にひびく「むら」賛歌</b></p> <p>地域の盆踊りを復活、森の収穫祭を企画、だんだんプランが実現しています。また冬には雪を活かしての大作戦に知恵を絞っています。</p>	<p>プロジェクトⅢ <b>川上村</b></p> <p><b>水源地の村の宴</b></p> <p>水がおいしい。ダムサイトで大宴会をしよう！森を学ぶツアーリズム、水を活かしたお料理教室も「宴」とらえ、交流が始まります。旗印は「龍のぼり」です。</p>
---	---	---

### パネルディスカッション

コーディネーター  
**増田寛也** 野村総合研究所顧問  
東京大学公共政策大学院客員教授

東京都生まれ。東京大学法学部卒、建設省へ。茨城県鉄道交通課長、河川総務課企画官など。建設経済局建設業課紛争調整官で退官。1995年 岩手県知事に。知事3期で退き、2007年 総務大臣。税制調査会委員、郵政民営化委員会委員長。著書に「『東北』共同体からの再生」(共著。藤原書店)「地域主権の近未来図」(朝日新書)など。

パネラー  
**荒井正吾** 奈良県知事

奈良県大和郡山市の出身。東京大学法学部卒業。運輸省(現国土交通省)に入って、観光部長、鉄道局審議官、自動車交通局長など。海上保安庁長官をつとめる。2001年に参議院議員(奈良選挙区)。2007年に奈良県知事。「平城遷都1300年」の記念行事を成功させた。2011年に再選。2014年、「全国海づくり大会」を奈良県で開く。

パネラー  
**尾田栄章** NPO法人渋谷川ルネッサンス代表

奈良県出身。元建設省河川局長。第3回世界水フォーラムの事務局長をボランティアで務める。「国連事務総長：水と衛生に関する諮問委員会」委員も。主な著書に「セーヌに浮かぶパリ」(東京図書出版会)など。雑誌「河川」に「記紀と続記」の時代を「水」で読み解く」シリーズを連載中。いま、原発事故で苦闘する福島県広野町役場の職員に志願、活躍中。

基調講演  
**「森・水・人 ― 悠々」**

**神野直彦** 東京大学 名誉教授

東京大学経済学部卒。日産自動車(株)に勤務後大阪市立大学で助教授。東京大学では、大学院経済学研究科長・経済学部長に。関西学院大学大学院教授も。専攻は財政学・地方財政論。現在、地方財政審議会会長、税制調査会会長代理、社会保障審議会年金部会長ほか。また日本自治学会会長。著作は「システム改革の政治経済学」、(エコノミスト賞受賞・岩波書店)、「地域再生の経済学」、(石橋湛山賞受賞・中央公論新社)、「分かち合い」の経済学」、(岩波書店)など多い。

パネラー  
**中村桂子** JT生命誌研究館 館長

東京都生まれ。東京大学理学部卒業。理学博士。国立予防衛生研究所などに勤務。早稲田大学人間科学部教授、大阪大学連携大学院教授など。2002年から現職。著書に『自己創出する生命』(ちくま学芸文庫、毎日出版文化賞受賞)、『ゲノムを読む』(紀伊国屋書店賞)、『科学者が人間であること』(岩波書店)など多く、共著もいくつか。

パネラー  
**坪井ゆづる** 朝日新聞東北復興取材センター長・仙台総局長

奈良市生まれ。早稲田大学法学部卒業。朝日新聞に入社、政治部記者、『アエラ』編集部、『be』編集部デスクなど。2003年から論説委員。国内政治、地方政治・行政分野を担当。論説副主幹のあと現職に。京都大学法学部客員教授もつとめた。現在、日本自治学会理事・企画委員、分権型政策制度研究センター参与も。

### 「なんゆう祭」

奈良県の2013年秋を彩るイベント、南部地域の産業復興を願う一大物産展です。奈良県南部地域の「なん」に、「悠」「湧」「優」「誘」「結」などの意味をもつ「ゆう」ということはを重ねて、この名前ができました。

<p>11/23 (土)</p>	<p>「大滝ダム」ダムサイト会場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 南部地域市町村物産展</li> <li>● 村弁王(村おこし弁当)決定戦</li> <li>● ゆるキャラ大集合</li> <li>● 大滝ダム見学会</li> <li>● 大滝ダム紅葉ハイキング</li> </ul>	<p>やまぶきホール 会場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第34回全国豊かな海づくり大会1年前プレイベント海づくりフェスタin川上</li> <li>● カヌー体験教室</li> <li>● <b>逸村逸品展</b></li> </ul>
<p>11/24 (日)</p>	<p>「大滝ダム」ダムサイト会場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● そまびと大会</li> <li>● 南部地域市町村物産展</li> <li>● 和太鼓演奏</li> <li>● ルシャナショー</li> <li>● 大滝ダム見学会</li> <li>● 親子ピッツア教室</li> </ul>	<p>やまぶきホール 会場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第34回全国豊かな海づくり大会1年前プレイベント海づくりフェスタin川上</li> <li>● カヌー体験教室</li> <li>● <b>スローライフ・フォーラム in 水源地のむら川上</b></li> <li>● <b>逸村逸品展</b></li> </ul>

### 「逸村逸品展」

11/23 (土) 11/24 (日) ● 10時～16時 ● やまぶきホール3階「展示ギャラリー」 ● 入場無料

かつての「一村一品」から「逸村逸品」へ――。優れたまちから良いものが生まれ、良いものがまちを育てる。スローライフ時代のものづくりのあり方を考えたい。ふさわしい逸品を、全国から100アイテム集合させました。

例えば、北海道釧路市から「ザリガニスープ」、秋田県能代市から「秋田杉の樽ピアジョッキ」、新潟県胎内市から「米粉生パスタ」、茨城県笠間市から「納豆鉢」、長野県大鹿村から「山塩」、和歌山県海南市から「棕櫚製大根にやさしいたわし」、滋賀県守山市から「鮎寿司パイ」、佐賀県小城市から「こどもびいる」、鹿児島県トカラ列島から「島バナナコンフィチュール」などなど。

これからの地域の物産づくりのヒントになるものが、勢ぞろいです。日本の宝もの探しに、そして商品開発の研修などにも皆さんでお越しください。

